

令和 7 年 度 事 業 実 績 報 告 書

令和8年4月30日

愛媛県議会議員 松尾 和久 様

議員氏名 加藤 瑞穂



主な政務活動の実施状況について、次のとおり報告します。

1 調査研究の概要

観光議員連盟視察

令和7年12月18日～20日

- ・ 福井県、岐阜県
- ・ 県議会観光議員連盟
- ・ 福井県観光 DX コンソーシアム
- ・ 下呂温泉博物館
- ・ 下呂温泉観光協会

《調査事項》

- ・ 観光 DX の取り組みについて
- ・ 温泉文化・観光資源活用について
- ・ 先駆的 DMO の取り組みについて

観光客の周遊性不足、宿泊予約・決済のデジタル化の遅れ、インバウンド対応の多言語化不足等の解決に向け先進地における DX 導入の具体的手法を把握し、本県施策立案に資する知見を得る。

《調査内容》

【福井県観光 DX コンソーシアム】

- ・ 観光データを活用した観光 DX の推進について説明を受けた。観光DMP「FTAS」に蓄積された予約情報やアンケートデータ等を活用し、生成AIを用いた観光案内や事業者支援を実施している。観光客の利便性だけでなく、観光事業者の業務効率化や売上向上を図り、地域全体の観光消費拡大を目指している点が特徴的であった。また、観光データの集約・分析による地域課題の可視化や、周遊促進に向けた提案型ガイドAIなどデジタル技術を活用した観光地域づくりについて学んだ。

【下呂温泉博物館】

- ・ 下呂温泉博物館では、温泉を「科学」と「文化」の両面から紹介する全国でも珍しい温泉専門博物館としての取り組みについて説明を受けた。館内では、温泉が湧きだす仕組みや泉質・効能などを科学的に学べる展示のほか、日本各地の温泉文化や歴史資料なども展示されており、観光と学びを融合した施設運営が行われていた。道後温泉について

も展示がありとても身近に感じた。温泉成分を実際に調べる体験コーナーや足湯施設など、体験型観光コンテンツとしての工夫もされており、地域資源を活かした観光誘客の重要性について学ぶ機会となった。

【下呂温泉観光協会】

- ・下呂温泉観光協会では、先駆的DMOとしての観光地域づくりについて説明を受けた。地域内の観光事業者や行政との連携により、地域ブランドの確立や情報発信、観光客の満足度向上に向けた取り組みが進められていた。特に、地域全体で観光データを共有し、観光施策へ反映する仕組みづくりや、体験型観光コンテンツの造成など、持続可能な観光地経営に向けた実践的な取り組みが印象的であった。観光協会が中心となり、観光資源を磨き上げながら地域経済の活性化につなげている点について学んだ。

観光分野においてもデジタル技術の活用化が急速に進んでいることを実感した。観光DXは、観光客の利便性向上のみならず、観光事業者の業務効率化や地域経済活性化にも大きく寄与するものである。地域資源を単なる観光素材としてではなく、「学び」や「体験」と結びつけることで地域の魅力向上につながることを学んだ。今後の地域観光施策の参考となる有意義な視察であった。

2 その他の政務活動の概要

令和7年8月20日～22日

東京都

全国四国新幹線期成会

・四国新幹線の整備促進に関する国の動向及び関係団体の取り組み状況を把握し、本県における広域交通政策及び観光振興施策の検討に資するため参加。

- ・四国新幹線整備に向けた課題、国における検討状況及び今後の見通し
- ・関係自治体の連携状況及び取り組み内容
- ・北陸新幹線設立当時についての状況を稲田衆議院議員より講話

令和8年1月21日～23日

東京都

四国新幹線基本路線計画全国大会

- ・基本路線計画路線の進捗状況
- ・整備に向けた全国的な課題認識
- ・国への要望内容及び重点項目
- ・前首相石破茂氏による話